

TOWISE

バックアップとリストア

使用バージョン:TOWISE 6.1.0.0

**バックアップはお客様の財産であるデータを守ります。
定期的にバックアップを行いましょう。**

目 次

・バックアップ	-----	P.1
複数バインダーのバックアップ		
・リストア	-----	P.5
複数バインダーのリストア		
・バインダーの簡易保存と読み込み	-----	P.9
バインダー単体のエクスポート/インポート		

【バックアップ】 複数のバインダーのバックアップを行います。

データ量により処理完了まで長時間かかる場合があります。時間に余裕がある際に作業を行ってください。

作業内容

作業データのバックアップを行います。バックアップには、標準の「バックアップ」と「簡易保存」があります。

標準のバックアップ方法である「キャビネット形式」のバックアップを行います。

TOWISE DataCabinet を開きます。

1. クリック

1 ツールバー【バックアップ】をクリックします。

バックアップ が開きます。

バックアップしたいデータを選択します。「キャビネット単位」「フォルダー単位」「バインダー単位」の指定が可能です。「キャビネット」を選択すると、キャビネットに含まれる全ての「フォルダー」「バインダー」を対象とします。ここでは「フォルダー」によるバックアップを行います。

チュートリアルでは、「キャビネット単位」でバックアップを行う流れで説明します。

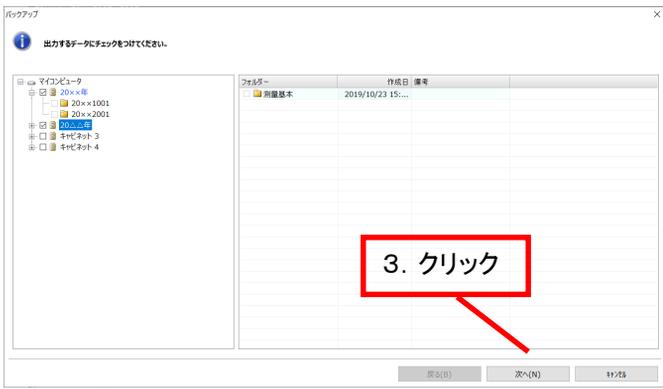
2 キャビネット名【20××年】【20△△年】にチェックを付けます。

出力するデータにチェックをつけ

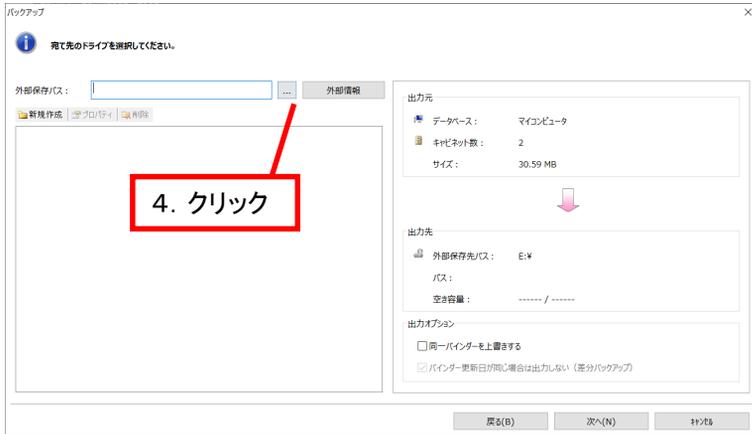
2. クリック

※1

※1
フォルダー内に存在する全てのバインダーが保存対象となります。



3 【次へ】をクリックします。



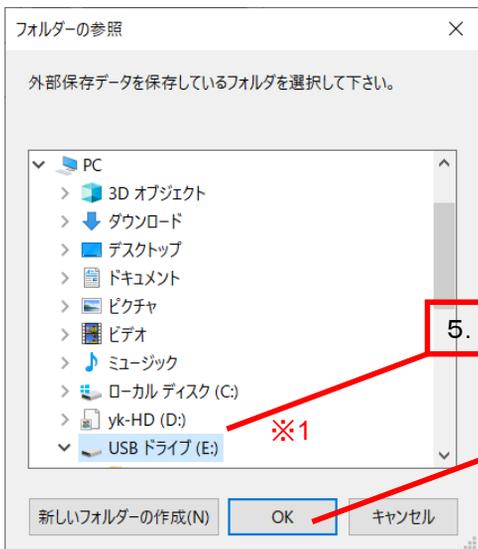
宛て先(保存先)のキャビネットを選択します。バックアップでは「キャビネット」の形で外部保存します。保存先にも「キャビネット」を作成します。

外部保存パスを指定します。

4 ... をクリックします。

フォルダーの参照 が開きます。

保存先を指定します。
練習では、USBドライブ(E:)を選択して作業を進めます。



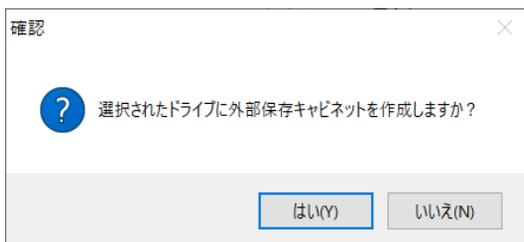
5 【USBドライブ】をクリックします。

6 【OK】をクリックします。

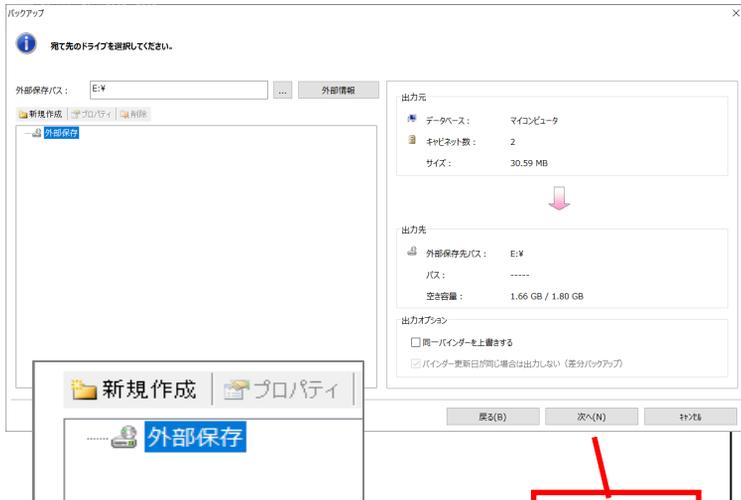
外部保存パスに E:¥ と表示されていることを確認します。(ドライブの表示は環境によって異なります)
初めて登録する場合はここに「外部キャビネット」を作成します。

7 【新規作成】をクリックします。

※1
実際のバックアップの際は、お客様ご自身で保存先を指定及び管理してください。



メッセージを確認し【はい】をクリックします。



8. クリック

Eドライブにキャビネットを保存する「外部保存」ができました。

保存対象が「フォルダ」の場合は、もう一度、新規作成をクリックすると「キャビネット」を作成します。「バインダー」のみ保存する場合は、さらに「新規作成」をクリックして「外部保存キャビネット」の下に「外部保存フォルダ」を作成します。



8 【次へ】をクリックします。



9. 確認

9 出力元に表示されているデータサイズと出力先の空き容量を確認します。(保存先)

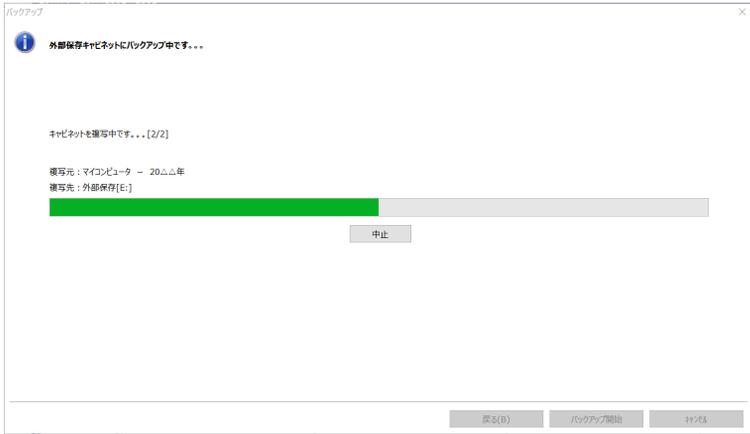
最後の出力内容確認に移ります。再度、空き容量を確認します。必要であれば【再取得】をクリックして空容量の計算を行ってください。

次の操作で、指定した場所にバックアップを開始します。選択したデータ数によっては時間が掛かることがあります。時間に余裕をもってバックアップを行いましょう。

10 【バックアップ開始】をクリックします。

10. クリック

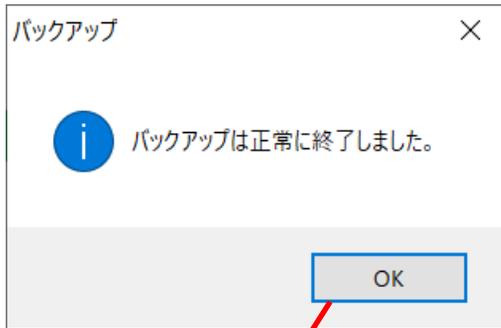




バックアップが実行されます。

バックアップが完了しました。

- 11 メッセージ内容を確認して【OK】をクリックします。



11. クリック

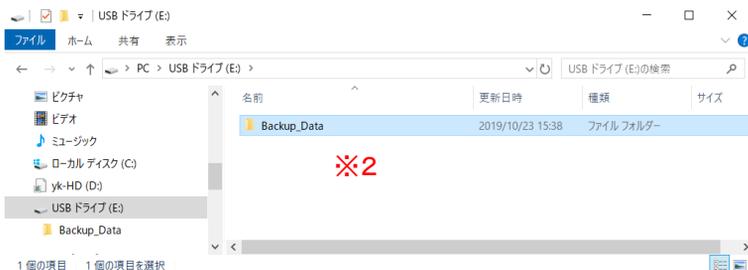
※1
バックアップ終了後の操作にご注意ください。

※1 ご注意ください。

外部機器やそれらに使用するDVDなどのメディア、USBフラッシュメモリなどに保存する場合、周辺機器を取り外すときは、Windows上の通知領域に表示されている「ハードウェアの安全な取り外し」/「ハードウェアの取り外し」などのアイコンをクリックし、周辺機器を完全に停止してから取り外して下さい。

周辺機器を停止しないで取り外すと、保存したデータが消失するなど、次の操作で正常に動作しない場合があります。

尚、周辺機器を取り外す方法は、お使いのOSによって、手順が異なります。



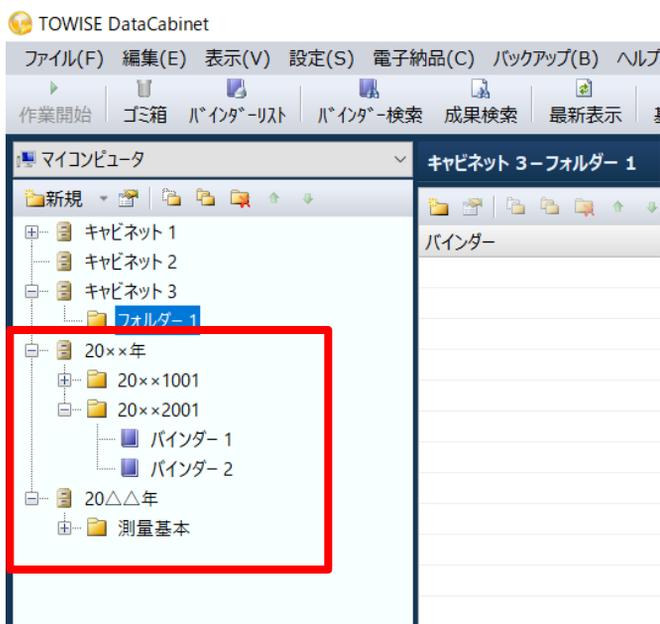
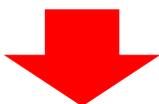
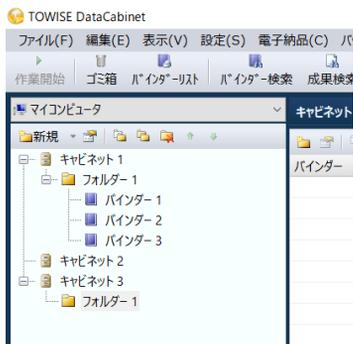
※2 ご注意ください。

バックアップされたデータは指定したドライブに「Backup_Data」というフォルダを登録します。フォルダ名の変更やフォルダ内のファイルを変更しないでください。データをリストア(元に戻す操作)できなくなります。

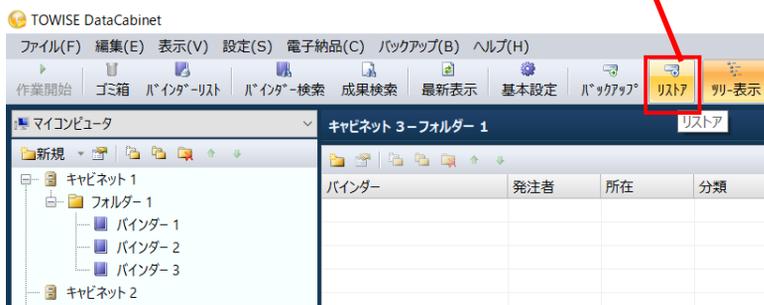
「リストア」は、フォルダ名「Backup_Data」とその中の「管理情報」を利用してデータを読み込んでいます。

【リストア】複数のバインダーのリストアを行います。

データ量により処理完了まで長時間かかる場合があります。時間に余裕がある際に作業を行ってください。



1. クリック



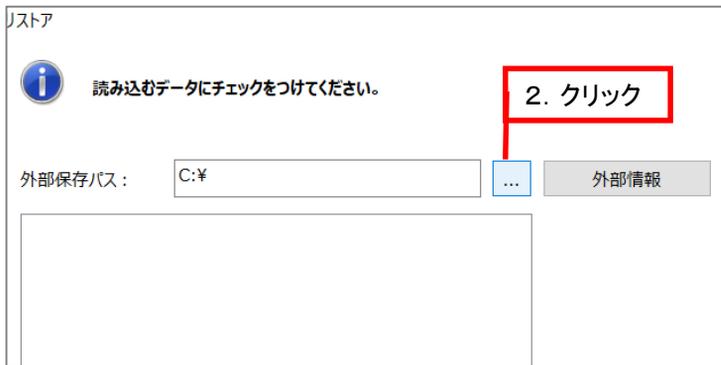
「キャビネット形式」でバックアップしたデータを TOWISE DataCabinet に戻します。

「リストア」を行きましょう。

TOWISE DataCabinet を開きます。

外部キャビネットにバックアップしたデータを再登録する場所(キャビネット・フォルダ)を選択します。

1 ツールバー【リストア】をクリックします。



リストア が開きます。

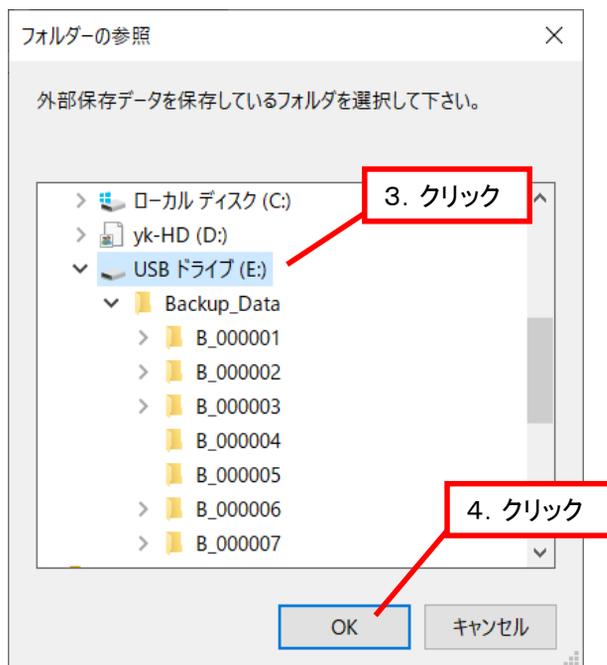
チュートリアルでは、Eドライブを選択しています。通常はバックアップの際に指定したドライブを選択してください。

2 外部保存パスを指定します。

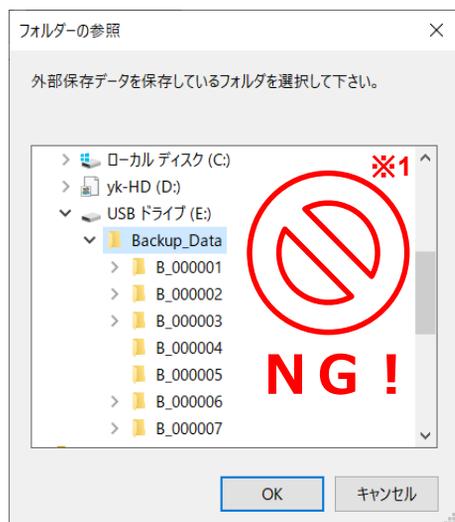
 をクリックします。

フォルダーの参照 が開きます。

3 【E:ドライブ】をクリックします。

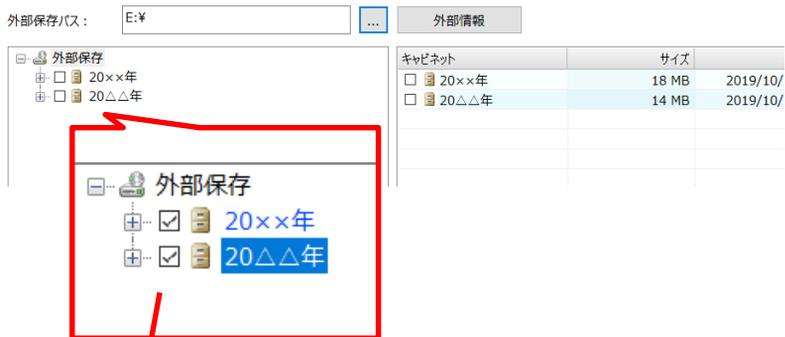


4 【OK】をクリックします。



※1 ご注意ください。

バックアップされたデータは指定したドライブに「Backup_Data」というフォルダを登録します。リストアの際は、**「Backup_Data」の上の階層**をセットしてください。
(「Backup_Data」フォルダを選択してはいけません)



5. クリック

再登録するデータにチェックを付けます。

5 キャビネットにチェックを付けます。

6 【次へ】をクリックします。



6. クリック



7 読込元に表示されているデータサイズと登録先の空き容量を確認します。

【次へ】をクリックします。

戻る(B)

次へ(N)

キャンセル

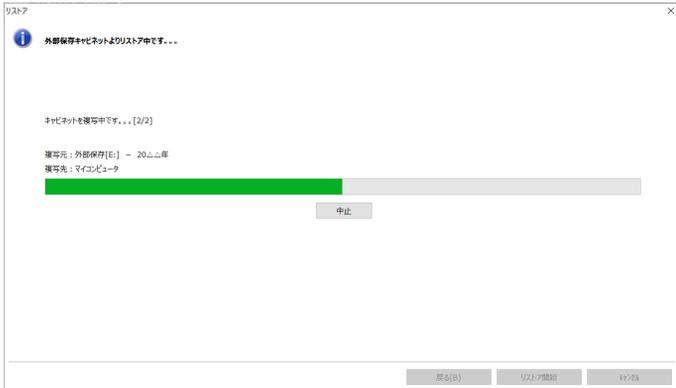
7. クリック



最後の出力内容確認に移ります。
再度空き容量を確認します。
必要であれば【再取得】をクリックして空容量
の計算を行ってください。

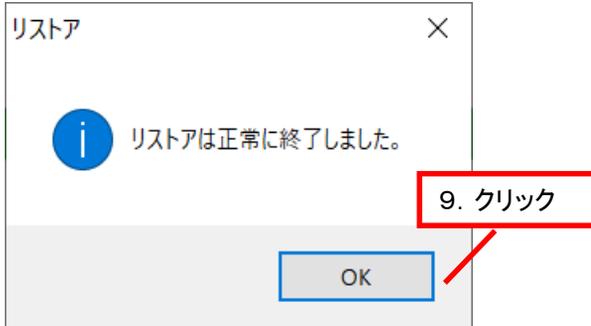
次の操作で、指定した場所にリストアを開始
します。
選択したデータ数によっては時間が掛かる
ことがありますので注意が必要です。

8 【リストア開始】をクリックします。

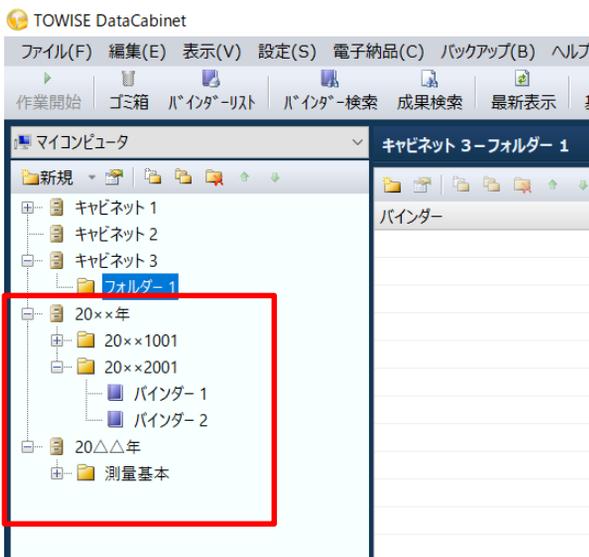


リストアが実行されます。

リストアが完了しました。

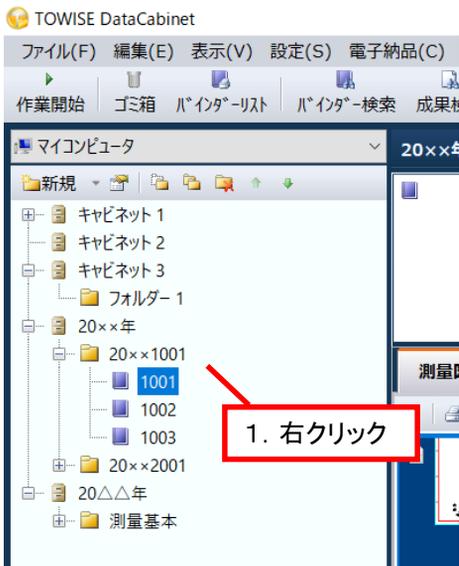


9 メッセージ内容を確認して【OK】をクリックしま
す。



TOWISE DataCabinet に登録されたか
確認しましょう。

【簡易保存と呼び出し】 単体バインダーの外部保存と呼び出し方法



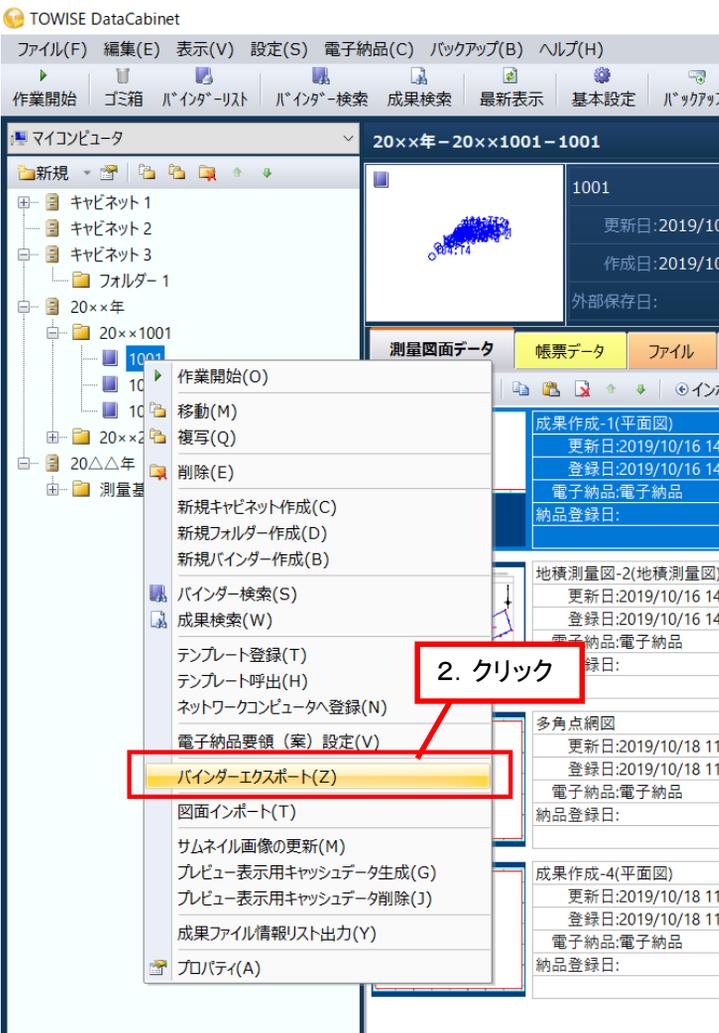
作業内容

簡易的に作業バインダーを外部に書出することができます。メールなどに添付して社外とのやりとりを簡単に行うことができます。

一元管理を行う「キャビネット方式のバックアップ」とは別の「バインダー単体のバックアップ」です。キャビネット、フォルダーの情報は保持しませんのでご注意ください。個別にデータを保存管理したい場合にも利用可能です。

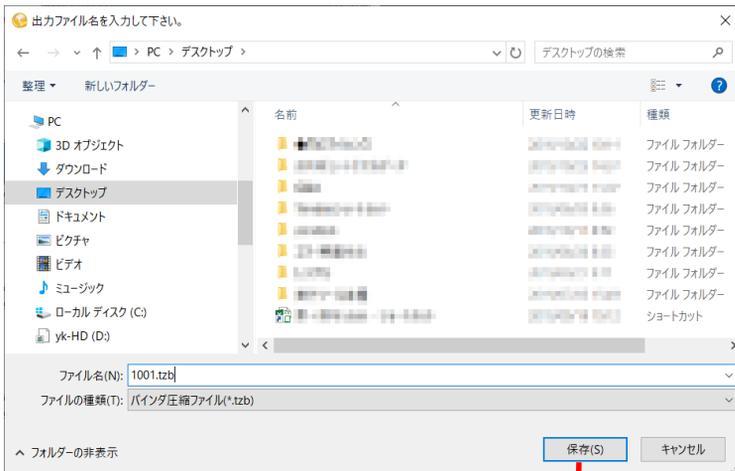
データの簡易保存を行きましょう。

TOWISE DataCabinet を開きます。

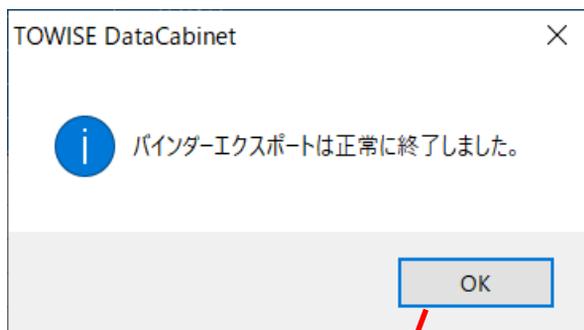


1 簡易保存対象のバインダーを選択し右クリックします。

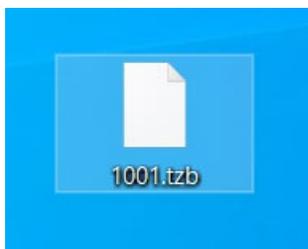
2 【バインダーエクスポート】をクリックします。



3. クリック



4. クリック



「.tzb」は、
TOWISEが作成するオリジナルの拡張子です。

保存先と出力ファイル名を確認します。

ファイル名はバインダー名が継承されます。
ファイル名を変更しても問題ありませんが、
インポート後のバインダー名は元の名称を
保持します。

ここでは「デスクトップ」に保存しています。

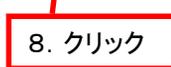
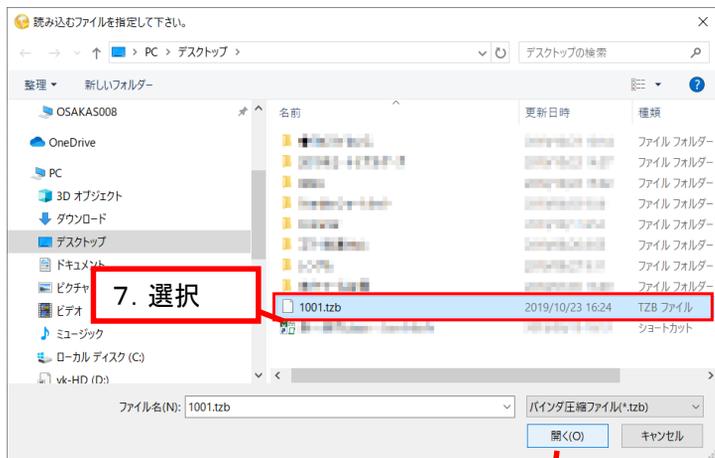
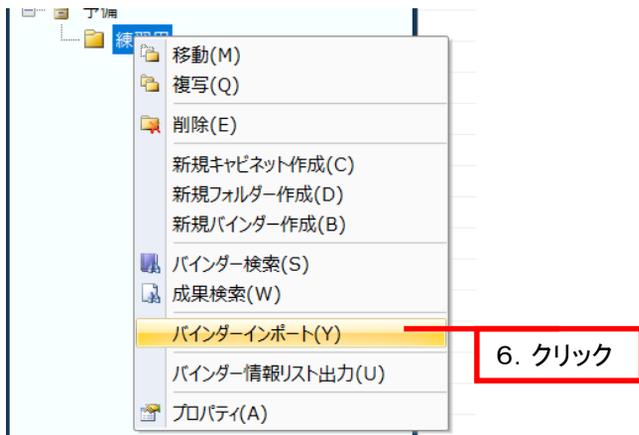
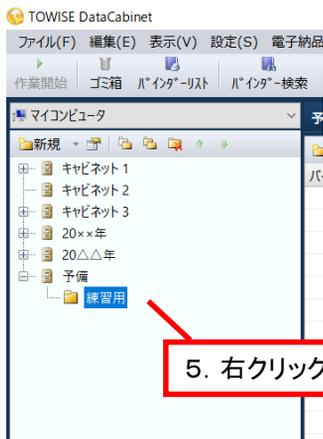
3 【保存】をクリックします。

エクスポートを完了しました。

4 メッセージを確認して【OK】をクリックします。

保存先に指定した場所にファイルが存在する
か確認しましょう。

ファイル名 例 練習.tzb



データの簡易読み込みを行いましょ。
「バインダーエクスポート」(簡易保存)を行っ
たデータ(拡張子.tzb)のみ対象となります。

TOWISE DataCabinet を開きます。

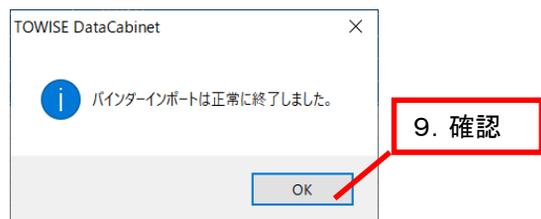
- 5 インポートするバインダーを登録したいフォルダーを選択し右クリックします。
- 6 【バインダーインポート】をクリックします。

- 7 ファイル選択画面が開きます。
簡易保存したバインダー(.tzbファイル)を選
択します。

- 8 【開く】をクリックします。
バインダー情報を表示します。記載内容を確
認します。
【OK】をクリックします。



- 9 メッセージ内容を確認して【OK】をクリックしま
す。



インポートが完了しました。

- ◆ このプログラムおよび使用説明書は、著作権上、当社に無断で使用、複製することはできません。
- ◆ このプログラムおよび使用説明書の使用によって発生する直接・間接・特別・偶然または必然的な損益については、一切の責任を負いません。
- ◆ 本製品の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、当社にご連絡下さい。
- ◆ このプログラムおよび使用説明書の内容は、予告なしに変更することがあります。

発行：2019年 10月（初版）

株式会社 **ニコン・トリンブル**